

神の国の奥義(12)

=イエスの祭司的いのり③=

1. イエスの最後の祈りにある私たち(ヨハネ 17章 11-19節)

①イエスは父の元に行くが、弟子たちが父の名の中に一つに守られるように祈る(11-12節)→一つとは組織や教団の人間的な一致ではなく、いのちと愛の交わりにあるひとつ

注: イエスとは神の神格の二位であるロゴスが時間と空間に介入された際の人としての名であり、**主は救い**の意味→**主**とは父なる神の名でもあり、イエスのことばとわざは父のそれらであった

②イエスの喜びが弟子たちの内にも満ち溢れるため(13節)→私たちの喜びはイエスの喜びであり、キリストの内に置かれ、キリストが内に生きることによる内発的な喜び

③イエスは弟子たちに父の言(ロゴス)を与えたが、世(コスモス: 世の価値観・道徳・基準などのシステム=肉の欲、目の欲、持ち物の誇り)は弟子たちを憎んだ→神と世は対立する(1ヨハネ 2:15-16)

④弟子たちは世にいるが、世からのものではない(同)→神は弟子たちを世にあって守る(1ヨハネ 5:18)

⑤真理(=ロゴス)のうちに聖別する(17節)

⑥弟子たちは遣わされた存在(18節)→イエスの聖別により弟子たちも聖別される

【暗証聖句】

17:11 わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。

17:13 しかし、今、わたしはみもとに参ります。世にいる間に、これらのことを語るのは、わたしの喜びが彼らの内に満ちあふれるようになるためです。

17:15 わたしがお願ひするのは、彼らを世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。

17:16 わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないのです。

17:17 真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの御言葉は真理です。

17:18 わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました。

17:19 彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。